

社会資本整備総合交付金 フォローアップ報告書
中丸子・上丸子地区

平成23年3月

長野県上田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	商業地に集う集客者数	万人	80	100	120	確定 見込み	あり なし	121	H22年 5月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	道路環境・公園の整備により、集客者数の増加につながった。	
指標2	公園の利用者数	人	12,000	15,000	16,000	確定 見込み	あり なし	16,200	H22年 5月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	周辺道路環境の整備により、集客数が増え、隣接する公園の利用者も増加につながった。	
指標3	遊歩道に対する住民満足度	%	60	80	88	確定 見込み	あり なし	88	H22年 8月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	周遊性のある遊歩道の整備により、散歩やジョギング、通勤通学にも利用され、満足度アップが図れた。	
指標4	旧カネボウ跡地有効活用の面積	m ²	50,893	80,000	98,000	確定 見込み	あり なし	98,000	H22年 4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	計画的に旧カネボウ跡地を買戻すことにより、事業の有効活用が図れた。	
指標5						確定 見込み	あり なし		H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	なし					確定 見込み			H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2						確定 見込み			H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3						確定 見込み			H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	幹線道路及び生活道路の整備	・主要地方道路 別所丸子線 平成21年より事業化 (依田川橋から国道152号交差点) ・県道 丸子東部インター線 平成22年より事業化 (下丸子から長瀬) ・市道 中丸子22号線 平成22年度より事業化 (別所丸子線と国道152号交差点から下丸子腰越線との交差点まで)	三事業は生活道路の安全性を高める道路整備事業、継続事業にて実施中。	主要県道や市道等が道路拡幅と歩道整備されることにより、地域間を結ぶ利便性が向上し、まち交で整備した道路等にもアクセスしやすくなることから、更なる事業効果が得られる。このため、事業進捗を図るため県事業に協力し、生活基盤としての市道整備を引続き実施。
	ウォーキングロードの利用促進及び安全性の確保	周辺に繁茂し伸びてくるアレチウリを駆除し、ウォーキングロードの安全性を確保。 ウォーキングロードのマップ作成。 健康ウォーキング講座の開催	河川敷や堤防沿いのアレチウリ駆除を6月から実施し、水辺に近いウォーキングロード周辺の環境向上につながった。講座の開催とマップの作成で、体力・時間・目的別にコースを自由に設定できることが周知された。	アレチウリは、芽生えた時期に駆除しても土壌中に種子が残っていれば10月まで発芽するので、年に数回の駆除活動は、ウォーキングロードの安全性を確保し、ウォーキングロード周辺の環境向上のため必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	既存商店街の活性化	既存の沢田・海戸・駅前・三反田の上丸子商店街で、夏のお祭り「丸子ドドンコ」、「花市」を開催。 市街地再生に向けた計画づくりと持続可能な事業展開を目指し、商工会、地元若手経営者、自治会等が「地域の絆再生会議」を発足。	丸子ドドンコにはみこし28基、踊り35連が丸子全地域から参加し、商店街は盛り上がった。 市担当課は「地域の絆再生会議」に参画し、会の活動を予算と情報の側面から支援。	まちづくりグループの活動を支援することで、中心市街地の活性化・再生事業の稼働実施が可能となり、商業地を含む丸子地域の中心市街地が絆のあるコミュニティとして再生を図る。
	ウォーキングロード利用者からの要望事項	ウォーキングロード回りに繁茂し伸びてくるアレチウリの駆除。 ウォーキングロードに接する水辺環境整備構想の策定に向けた市民協働事業の実施。	「依田川リバーフロント市民協働事業実行委員会」を設立し、水辺環境整備構想の策定に向けたアンケート等を実施。	繁茂し伸びてくるアレチウリの駆除。 ウォーキングロードに接する水辺環境整備構想策定に向け市民協働事業として引き続き実施。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
安全で安心して暮らせる地域づくり	丸子中心市街地排水対策事業(水害防止を目的とした水路改修) 下丸子腰越線歩道リメイク事業(老朽歩道の改築) 塩川上堰管理道兼用市道交通安全施設整備(老朽転落防止柵更新) 市道 中丸子22号線(地方特定からまち交事業にH23年度から移行)	平成23年度から	安全で安心して暮らせる地域づくりのため、新たに事業の追加が必要である。 まちづくり交付金事業にて平成23年の新規事業として目論んでいるが、補助事業の今後動向が不透明であり、また、補助率等が不明であるため、財源を確保しなければ事業実施が出来ない。